

施工される前に

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 便器の使用水圧範囲は、最低必要水圧:0.07MPa (流動圧)から最高使用水圧:0.75MPa (静水圧)です。給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
温水洗浄便座は機種により、最低必要水圧が異なる場合がありますので、使用条件をご確認ください。
- 排水経路が適切であること(詰まりの有無・配管設計・通気設計、配管老朽化での配管損失なし)を事前に確認ください。
排水管の詰まりや通気が不足している場合、排水能力低下、騒音、封水切れ、他器具への影響などが生じるおそれがあります。
排水管接続の際は管を屈折させたり曲がりも多く使用することや小曲がり継ぎ手の使用は洗浄に影響を及ぼすため避けてください。
- 便器の洗浄水量は、自治体により行政上の立場から設置条件が決められている場合があります。その場合は所轄官庁の指示に従って設置してください。

施工された後に

- 不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
- 本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください

- ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

表示と意味

- ⚠ **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
- ⚠ **注意** …… 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
- ⊘ …… してはいけない禁止の内容です。
- ❗ …… 必ず実行していただく強制の内容です。

⚠ 警告

- ⊘ 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしない。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

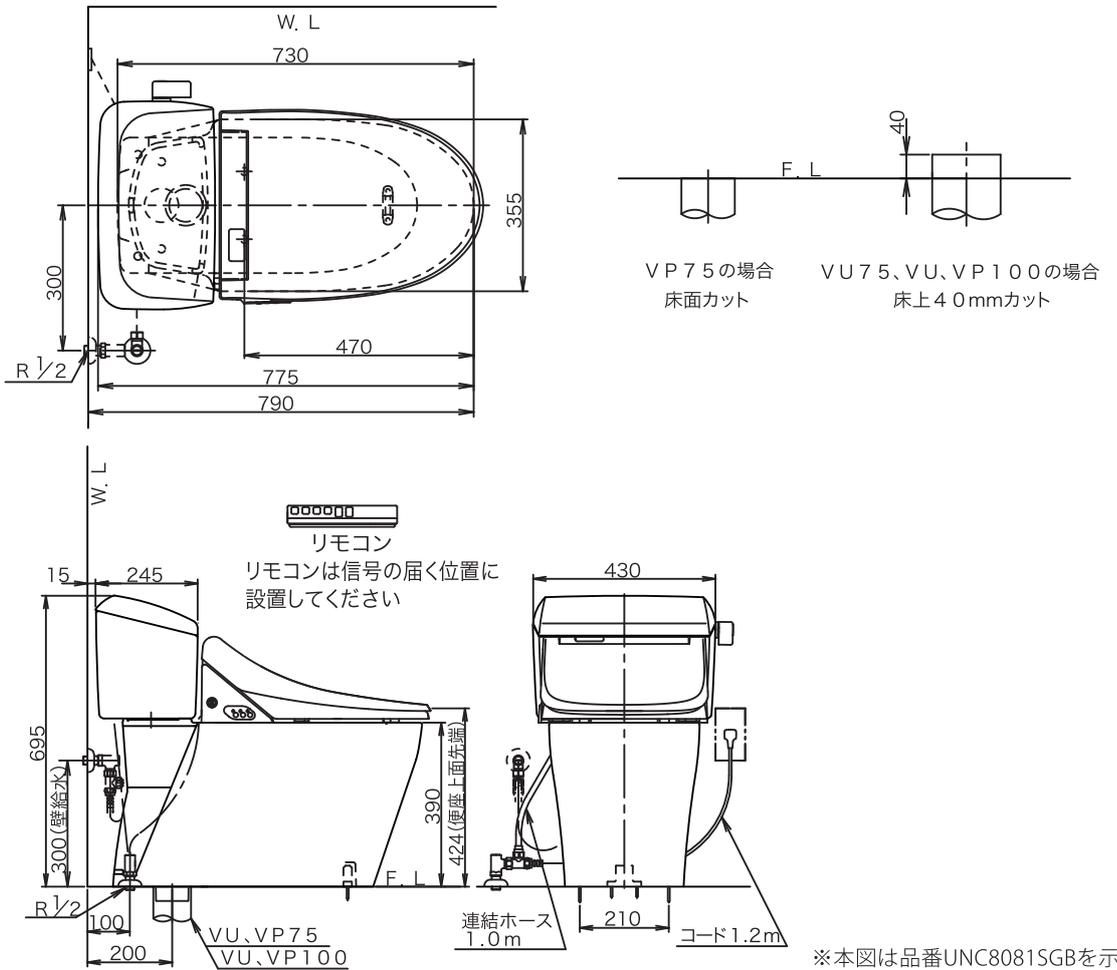
⚠ 注意

- ⊘ バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 交流100V以外では使用しない。
※故障や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 電源コードが破損するようなことをしない。
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。
- ⊘ 便器に強い力や衝撃を与えない。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。
- ❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行う。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- ❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをする。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

お願い

- 清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります)

施工寸法図



部品の確認 (梱包内容を確認してください)

便器セットに同梱



袋入り



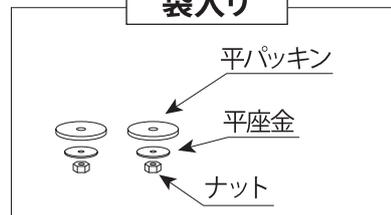
袋入り



タンクセットに同梱



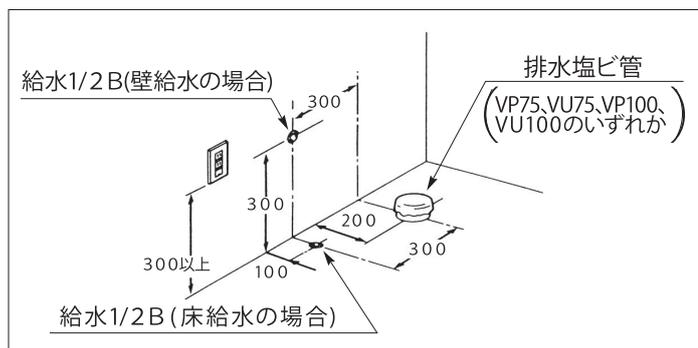
袋入り



施工手順

① 給排水の位置決めと取出し

- 下図に従って給水管、排水管を取出します。

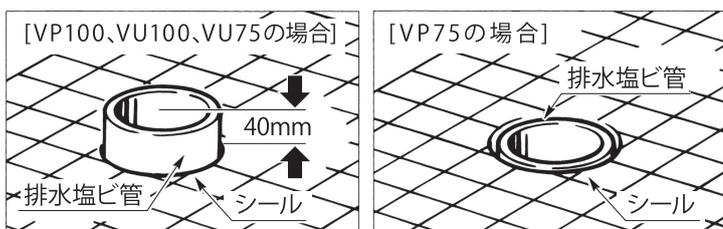


お願い

- 便器を取付けるまで、異物が入らないよう、給水管にはプラグを、排水管には、ビニール袋等でカバーをしてください。

② 排水塩ビ管の切断

- 壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を切断します。
※切断位置はVP75の場合は床仕上げ面で、VU/VP100およびVU75の場合は床仕上げ面より+40mmで切断してください。

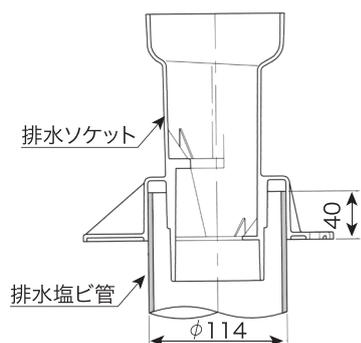


お願い

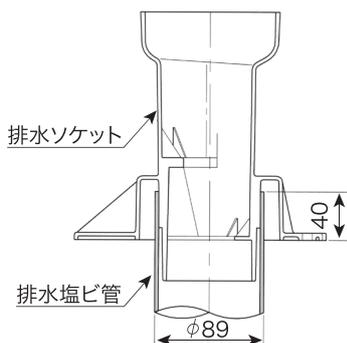
- 切断面は床と平行になるように切断してください。
※切断位置が正確でないと、漏水や臭気発生の原因となります。
- 床下への漏水防止のため、床と排水管のすき間を、シールしてください。

- 排水塩ビ管と排水ソケットの接続は以下ようになります。

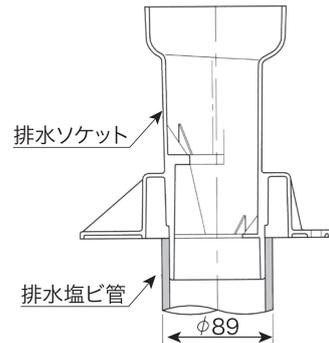
VP100, VU100: 塩ビ管外周接着



VU75: 塩ビ管内周接着



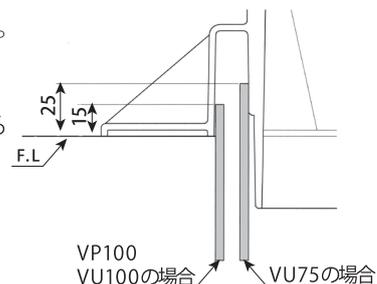
VP75: 塩ビ管内周接着



お願い

- 排水ソケットを接着する前に排水塩ビ管との勘合具合を確認してください。
※すき間、ガタがある場合は、コーキング剤を使用してシール接着します。
※はまりにくい場合は、右図のように塩ビ管取出し高さをカット調整します。
VU75の場合は床仕上面から25mm、VP/VU100の場合は床仕上面から15mmを下限として調整してください。
- 接着部は、きれいにしてから作業を行ってください。
- 接着には、市販の塩ビ接着剤を使用してください。
- 接着は確実に行ってください。
※接着が不十分ですと、漏水や臭気発生の原因になります。

塩ビ管取出し高さのカット調整

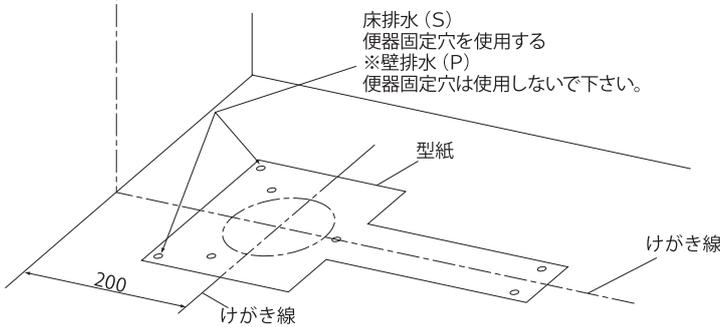


③ 便器フランジ、固定部材の位置決め

- (1) 便器排水芯の中心線をけがきます。
- (2) 便器排水芯の中心線に型紙を合わせ、排水ソケット固定位置、固定用部材取付位置をけがきます。
便器の固定穴の合わせ位置が排水のタイプによって異なります。間違いのないことをご確認ください。
※床の補修が必要になります。

【ワンポイント】

ねじの下穴をφ4~4.5のキリであけておくと、④での作業がしやすくなります。

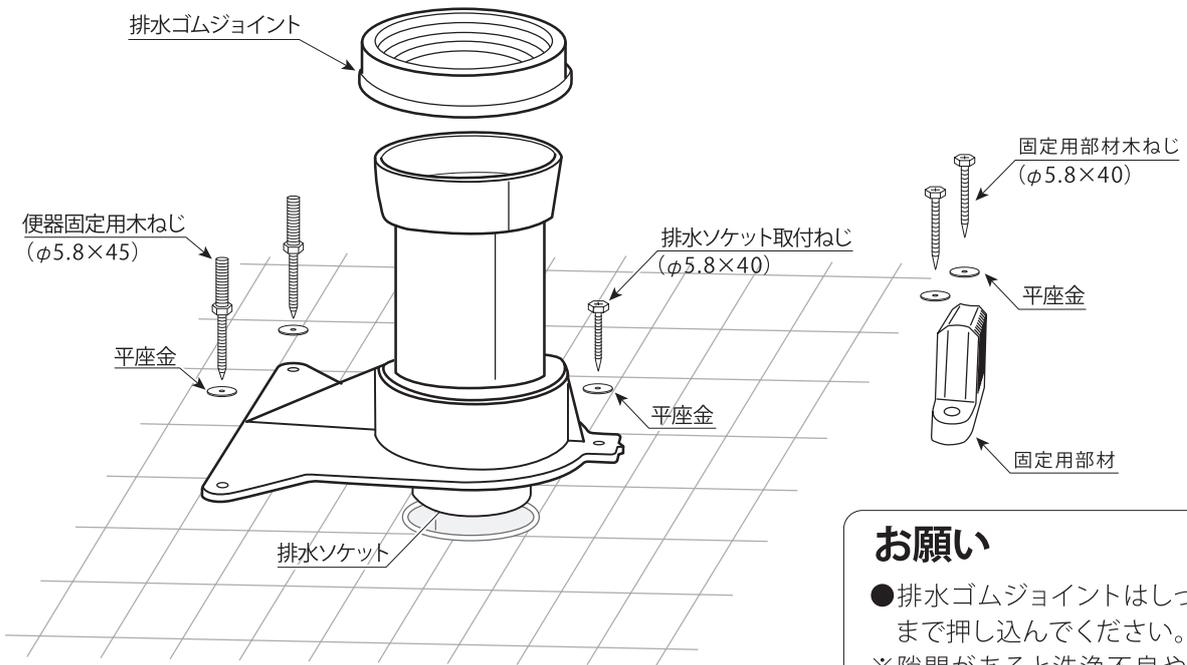


お願い

- 型紙を合わせる際、排水塩ビ管部は切り抜いてお使いください。
- 位置決め後は、型紙を取り除いてください。

④ 排水ソケット・固定部材の取付け

- (1) 排水ソケットと排水塩ビ管の接着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
● 排水ソケットのフランジ部が床面に着くまで、しっかり差し込んでください。
- (2) 便器固定用木ねじと取付ねじで排水ソケットを床に固定します。
● 床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。
- (3) 排水ゴムジョイントを、排水ソケットにかぶせ、しっかり押し込みながら取付けします。
- (4) 固定用部材を木ねじで固定します。
● 床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。



お願い

- 排水ゴムジョイントはしっかり奥まで押し込んでください。
※ 隙間があると洗浄不良や漏水の原因となります。

奥まで押し込む



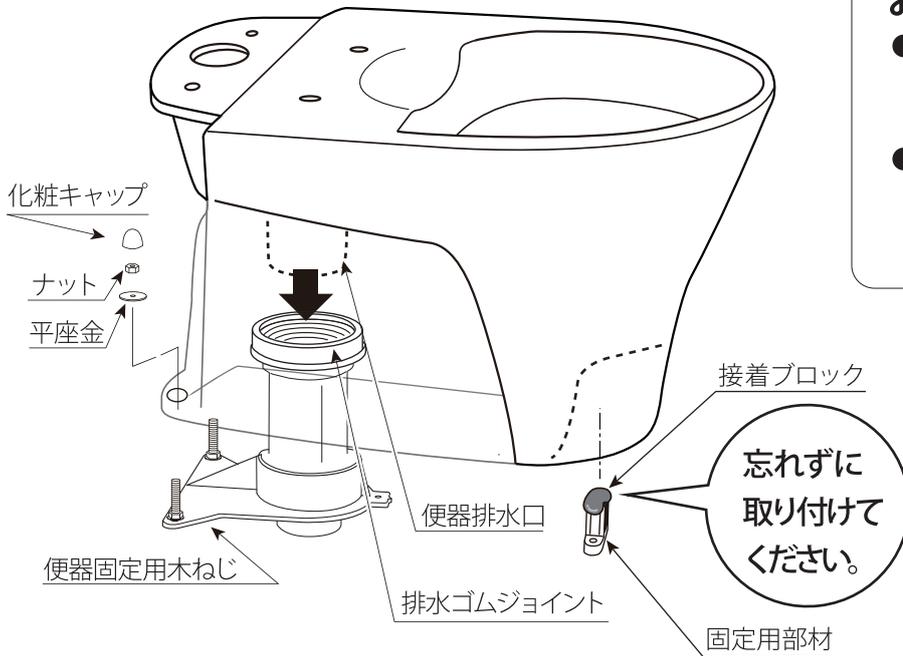
便器の持ち方



- 便器は陶器製で約35kgです。
- 右図のように持ってください。
(滑り止めのついた手袋を着用してください)

5 便器の取付け

- (1) 固定用部材の上に**接着ブロック**を乗せます。
- (2) 便器固定用木ねじをガイドにしながら、便器の排水口を排水ゴムジョイントに差込みます。
- (3) 平座金を介し、ナットで便器を固定します。このとき、便器固定用木ねじが、中心になるようにしてください。
- (4) 固定後、化粧キャップを取付けます。

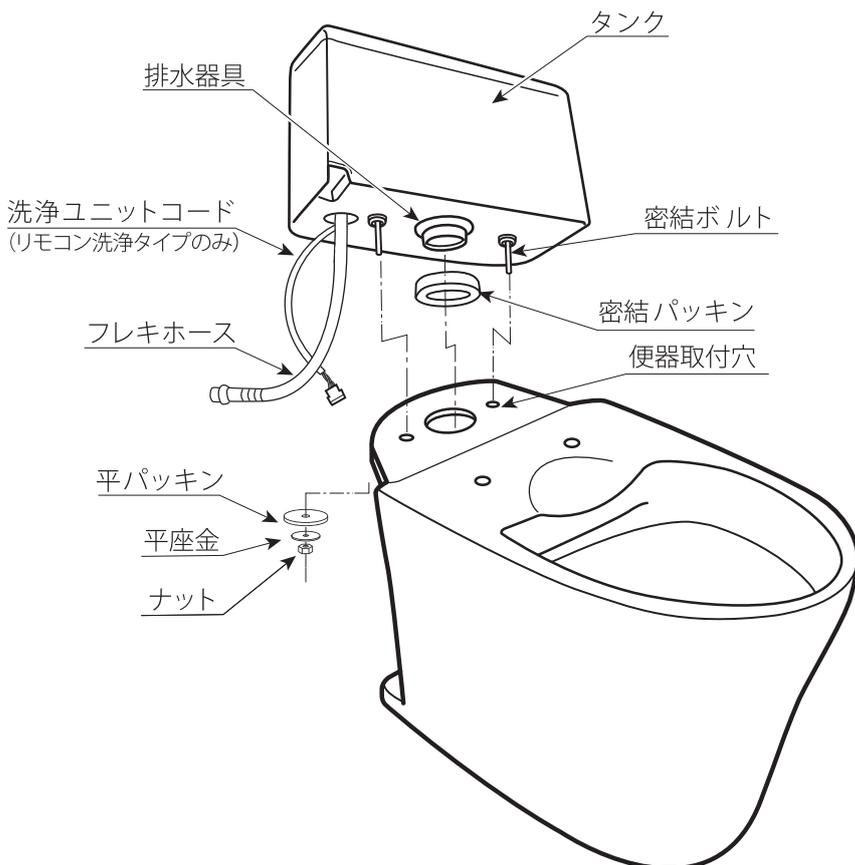


お願い

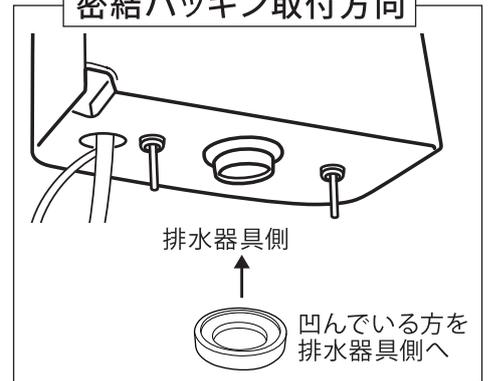
- 便器の完全固定は、便器底面と床面のガタおよび施工芯を確認しながら行ってください。
- 陶器に対するねじは、締め過ぎないようにしてください。
※ 陶器が割れる恐れがあります。

6 ロータンクの取付け

- (1) 密結パッキンを排水器具にはめます。
- (2) 密結ボルトを便器取付穴に差込みます。このとき、密結パッキンがずれたり、はずれたりしないように行ってください。
- (3) 便器下方から平パッキン、平座金を介してナットで締付けます。



密結パッキン取付方向



お願い

- ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※ 片締めは破損や漏水の原因になります。
- ナットの締付けの際にフレキホースや洗淨ユニットコードをはさまないように気をつけてください。
※ 動作不具合の原因となります。

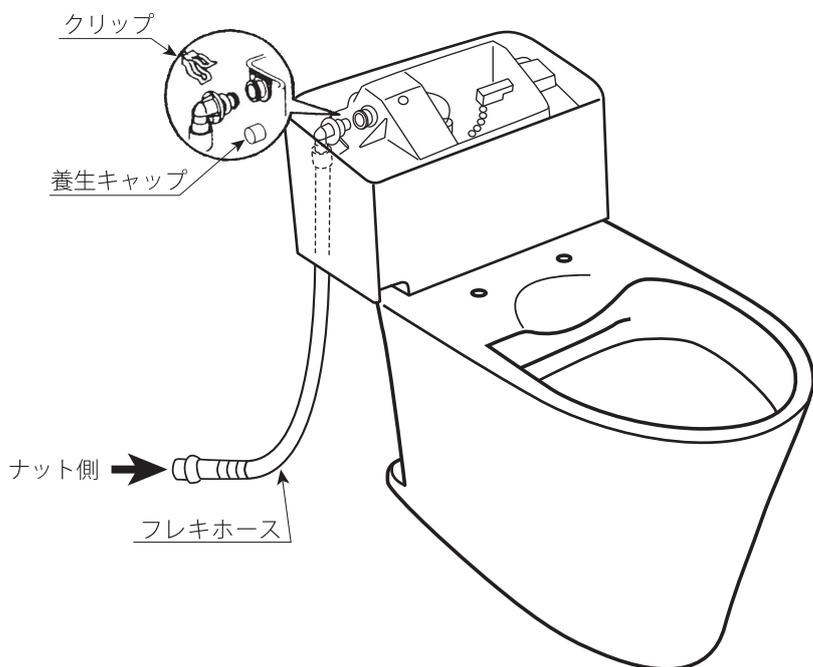
7 フレキホースと止水栓の接続

- (1) ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
- (2) ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
- (3) 付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。

【ワンポイント】

クリップカバーの差込口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。

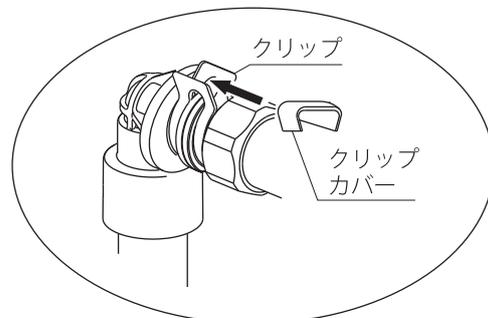
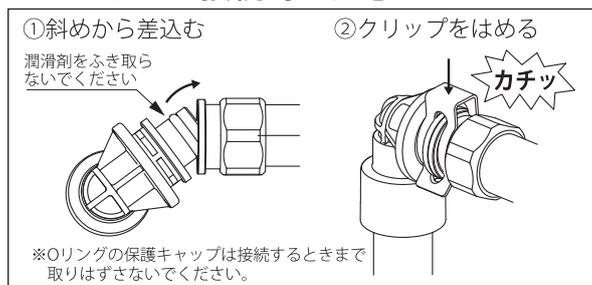
- (4) クリップにクリップカバーを差込みます。
- (5) 給水管取出し口に止水栓を取付けます。
- (6) パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。
- (7) ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。



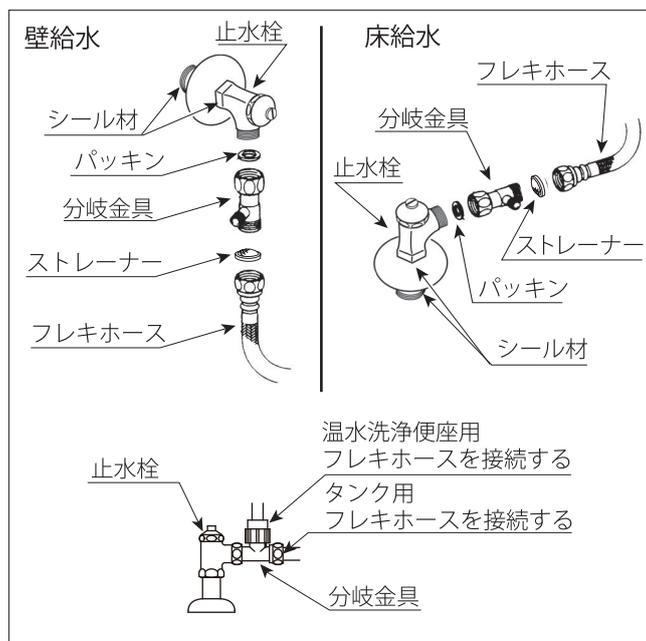
お願い

- フレキホースをボールタップへ差込む時に、Oリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因になります。
- クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
- クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。
- 止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いて取付けてください。
- ストレーナーは必ず取付けてください。
※異物が入ると、作動不良や故障の原因になります。
- フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
※破損して漏水の原因になります。
- フレキホースはねじれを生じないように接続してください。
※給水不良・漏水の原因になります。

フレキホース接続時の注意



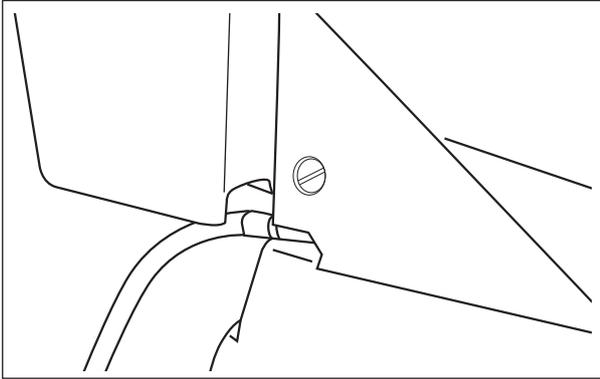
温水洗浄便座の場合



※パッキンと分岐金具は温水洗浄便座の同梱部品です。

8 便座の取付け

- 便座の施工説明書に従って取付けしてください。
- 温水洗浄便座（JCS-95型 リモコン洗浄タイプ）を取付ける場合はロータンク前面の開口部奥へ便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードを通して便器裏側へ収めて下さい。



注意

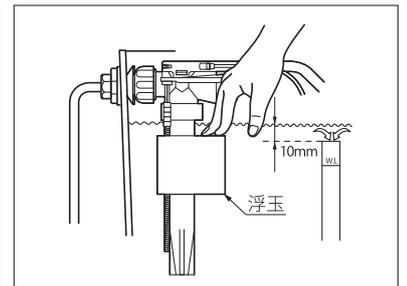
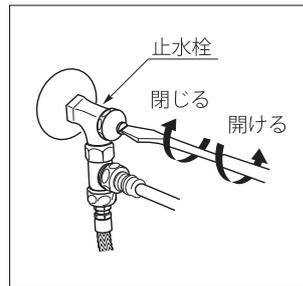
- 便座用電源コード、アース線、給水ホース、洗浄ユニットコードをはさまない様にしてください。

9 調整方法

- 器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、お客様の好みに合わせて水量を調整してください。

■給水量の調整

- 万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でも、タンクから水があふれないようにするために、次の要領で調整を行ってください。
 - (1) 止水栓を閉じ、タンクのふたを外します。
 - (2) 浮玉を押し下げながら、止水栓を徐々に開きます。
 - (3) この状態で、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度に、止水栓の開きを調整します。



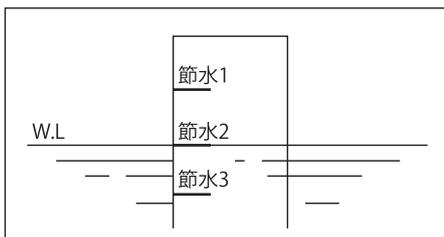
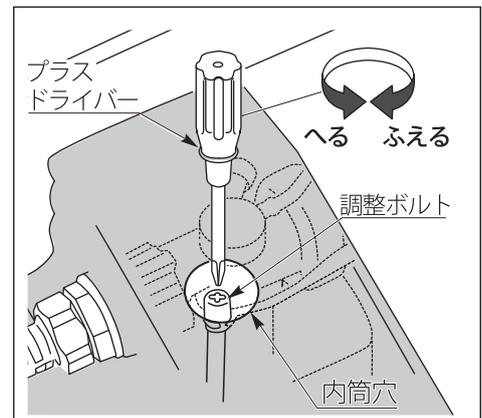
■水位の調整

- 給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている「節水1～3」のラインに合うように、浮玉を上下させて調整してください。
- ※出荷時の水位は節水2に設定してあります。

【浮玉の移動方法】

調整ボルトを右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。

※内筒穴からプラスドライバーで調整してください。



●水量の目安

(水圧0.2MPaの時)

大洗浄 小洗浄

節水1 → 約8.0L 約7.0L

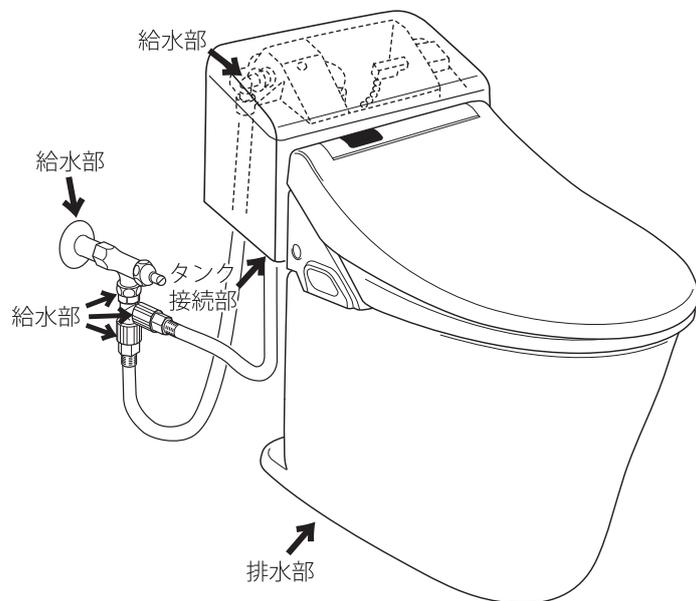
節水2 → 約6.0L 約5.0L

節水3 → 約4.8L 約4.0L

10 確認と点検

- 洗淨ハンドルを操作して数回洗淨し、各接続部に漏水が無いことを確認してください。
- 便器鉢内に長さ約760mmのトイレトーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗淨ですべて排出することを確認してください。
- 排出されない場合は必ず水位調整してください。
調整方法は⑨を参照してください。

節水型便器の床下横引き排水管において、勾配1/100、75A、2曲りの排水管(BL基準)で10m以上の搬送性能が確保されていることを確認しています。
排水管長さが10mを超える場合でも停滞した汚物は次の洗淨で順次押し流されていくことを確認しています。



11 ワンポイント

- 水の出が悪い場合
ストレーナーを掃除してください。(⑦参照)

お願い

- 止水栓を動かした場合は、必ず給水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎ <0569> 35-3151